

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●ヴィクトリアマイルはテンハッピーローズが優勝

5月12日(日)に行われたヴィクトリアマイル(G I)ではテンハッピーローズ(牝6歳/栗東・高柳大輔厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。鞍上の津村明秀騎手にとってもG I初制覇。単勝払戻金2万860円は2007年コイウタの6030円を更新するレースレコード、かつG I歴代第4位の高配当記録となりました。

### ●佐々木大輔騎手がJRA通算100勝を達成

5月11日(土)の1回新潟5日・第7レースではラテラルシンキングが1着となり、同馬に騎乗した佐々木大輔騎手(美浦・菊川正達厩舎)は、現役89人目となるJRA通算100勝(1296戦目)を達成しました。

### ●武豊騎手が前人未達のJRA通算4500勝を達成

5月12日(日)の2回東京8日・第2レースではウェットシーズンが1着となり、同馬に騎乗した武豊騎手(栗東・フリー)は、史上初となるJRA通算4500勝(2万4543戦目)を達成しました。

### ●和田竜二騎手がJRA通算1500勝を達成

5月12日(日)の3回京都8日・第7レースではディアドコスが1着となり、同馬に騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、史上20人目・現役8人目となるJRA通算1500勝(2万1343戦目)を達成しました。

### ●千葉サラブレッドセール開催

5月10日(金)、千葉県の船橋競馬場にて2歳トレーニングセールである「千葉サラブレッドセール」が開催されました。上場された47頭(牡23頭・牝24頭)すべてが落札され、売却総額は14億2582万円。最高価格をつけたのは、牡馬はキャンディネバダの22(父レイデオロ/母はアルゼンチンG1馬)で9240万円、牝馬がスクラッタの22(父ナダル/祖母はアネモネS勝ち馬エミーズスマイル)で1億2100万円でした(金額はすべて税込)。

### ●重賞ウイナー3頭の競走馬登録抹消

2023年エプソムC(G III)の勝ち馬ジャスティンカフェ(牡6歳/栗東・安田翔伍厩舎/JRA通算18戦5勝)、2022年福島牝馬S(G III)の勝ち馬アナザーリリック(牝6歳/美浦・林徹厩舎/JRA通算13戦4勝・地方1戦0勝)、2022年テレビ西日本賞北九州記念(G III)の勝ち馬ボンボヤージ(牝7歳/栗東・梅田智之厩舎/JRA通算29戦5勝)は、3月13日(水)までに競走馬登録を抹消されました。ジャスティンカフェは馬事公苑で乗馬となり、アナザーリリックとボンボヤージは繁殖馬となる予定です。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●無敗馬対決はシンメデージー(高知)に軍配【各地の主要3歳重賞】

新設された西日本クラシック(5月1日、園田、1870円)は、3番手から3、4コーナー中間で先頭に立った2番人気の高知からの遠征馬シンメデージー(牡、父コパノリッキー)が、4戦4勝で1番人気に推された地元兵庫の菊水賞馬オーシンロクゼロに3馬身半差を付け、デビュー以来の連勝を6に伸ばしました。北日本新聞杯(4月28日、金沢、1700円)は、3番手追走から4コーナー手前で先行馬を捉えた2番人気のリケアマロン(牝、父トビーズコーナー)が後続を5馬身引き離し、JRA(未勝利)から転入後2連勝。佐賀皐月賞(4月28日、佐賀、1800円)は、5番手から差を詰めたウルトラノホシ(牡、父ホッコータルマエ)が4コーナーで前を交わし、単勝1.1倍の圧倒的支持に応えて3度目の重賞制覇。北斗盃(5月2日、門別、1600円)は、中団から追いつけた3番人気のブラックパトラ(牡、父シニスターミニスター)が直線半ばで差し切りました。東京湾C(5月2日、船橋、1700円)は、道中後ろから3頭目という位置から徐々に進出した2番人気の北海道から船橋への移籍馬マクロクサノホコ(牡、父トウザワールド)が、残り150円を切った辺りで抜け出して重賞初制覇を果たしています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1 1000ギニー〜ルーヒヤが接戦を制す

現地5月12日にフランスのパリロンシャン競馬場で行われたG1 1000ギニー(3歳牝、芝1600円)は、M.ギュイヨン騎手を背にかけ気味に先行したルーヒヤ(牝3歳、父ロベデヴェガ、Fグラファール厩舎)が逃げ粘るカトマンズをゴール前でアタマ差交わして優勝しました。勝ったルーヒヤは昨年11月にデビュー2戦目(オールウェザー1300円)で初勝利を挙げて2歳シーズンを終了。今季初戦となった前走4月のクラス1戦は追い込んで3着でした。

### ●G1 1000ギニー〜メトロポリタンが優勝

上記1000ギニーの1レース後に行われたG1 1000ギニー(3歳牝、芝1600円)は、直前の暴風雨のため35分ほど遅れての発走。A.プーシャン騎手の手綱で内の3番手を進んだメトロポリタン(牡3歳、父ザラック、M.バラッティ厩舎)が直線で抜け出して優勝しました。勝ったメトロポリタンは2歳時は8月と9月に走って2戦2勝。休み明けとなった今年4月の前走G3フォンテーヌブロー賞は出遅れもあって5着でしたが、大舞台で巻き返しました。